

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和46年度以前			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 林業
事務事業名			04 造林事業
根拠法令・例規等		緑の基金による森林整備等の推進に関する法律	
担当課(室)	農林水産課		
職・氏名	管理係長 大道健一		
電話	0869-64-1831		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	森林所有者、森林利用者、地域住民
目的(何のために)	森林・地域環境の保全に資するために、森林整備及び緑化の推進を図る。
行政活動(どのような方法で)	植栽等を行う者に苗木等の現物支給及び援助を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	緑化事業により地域の環境保全が図れる。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	苗木の支給団体	件	3	6	6
	記念造林保育事業	件	1		
実績	直接事業費	千円	535	259	214
	必要人員	人	0.04人	0.01人	0.02人
	必要人員費	千円	348	93	199
	事業費	千円	883	352	413
	国・県支出金	千円	210	259	
	受益者負担金	千円			
市収入	千円				
その他()					
一般財源		673	93	413	
受益者負担比率	%				

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	苗木の支給団体	件	3	6	6
	対前年比	%		200.0%	100.0%
	活動コスト	円	211,050	259,293	214,492
	単位当たりコスト	円	70,350	43,216	35,749
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	記念造林保育事業	件	1		
	対前年比	%		0.0%	
	活動コスト	円	206,000		
	単位当たりコスト	円	206,000	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果					
緑化地区数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値		3	6	6
	実績値(B)		3	6	6
	到達目標年度				毎年度
	達成率(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%
成果指標設定の考え方・式や説明					
緑化地区数/緑化要望地区数					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 団体から事業実施に当たり緑化樹の交付要望がある	過去に植林した山林がそのままのため、整備していく為に必要である。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率的評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識
有効性の評価	市民参画度		市民が積極的に緑化を推進し地区の環境整備を図っている。また、造林事業については森林組合を指導し森林所有者に事業の内容を情報提供し、周知する必要がある。
			有効性評価<A~E>

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量		
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
状況			○				廃止・完了
説明	引き続き、森林組合と協力して事業を推進していく。						

総合評価		評価区分<A~E>
今年度も補助対象者がいなかったが、今後とも森林組合等と連携し、事業を増やす必要がある。また、引き続き緑化樹の苗木を交付する。		D

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○					
説明	必要に応じて実施していく。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果		